

◇ 672 西上州・裏妙義（丁須の頭） やや健脚向き

期 日 11月3日（水・祝日）

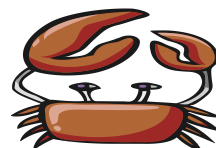
歩 程 5時間40分

参加者 5名

費 用 3,780円

コース 大宮発 6:29 高崎行=8:33 横川駅 登山口 9:00—御嶽山 11:20
—(昼休憩)11:50—丁須の頭 13:15—下山 15:25 横川駅 15:53=
17:52 大宮駅

秋晴れの天候に恵まれ、碓氷川の流れに目を奪われながら登山口に入るが、すぐにキツイ岩場で鎖を頼りに足を上げやっとながら上がる。それから、厳しい岩場と鎖場の連続に、時には四つん這いで登る。その緊張の中にも横川や妙義湖などの見晴らし眺め、洞窟を横目に御岳の頂上に着く。ここで昼食。一人で登ってきたハイカーに全員の写真を撮って頂く。この方は家から見える山の制覇を目標にしているようで、身軽に歩を進めて行かれたのが印象的。遠く浅間山から筑波山までの素晴らしい眺めを堪能し丁須の頭に。頂上下の岩場も鎖に助けられやっとながら丁須岩に登る。でも狭いので早々に下山開始。蟹の横ばいに負けない怖い岩場（その上苔で滑りやすい）もありで登山口まで気の抜けない下りであった。初めは紅葉には少し早いと感じていたのだが、上に登るにつれ、真っ青な空に色づいた木々の紅葉が目に優しく、秋色も堪能出来た良い山行きであった。



K 記